

第2回アジアスマートシティ会議 コンクルージョン(結論) 日本語訳

アジア21都市並びに国際援助機関の出席を得て、第2回アジアスマートシティ会議は、参加した地方自治体に対し、様々な都市インフラに関するスマートテクノロジーを活用し、先進的かつ環境にやさしい社会を発展させるよう奨励した。

参加都市が、直面している課題に関するベストプラクティスについての意見交換や知見の共有を行う一方、援助機関は、適切かつ有益な助言と示唆を行い、それらは参加都市により、しっかりと認識され、評価された。二つのセクターのパートナーシップは本会議の目的達成に役立つだろう。

第1回アジアスマートシティ会議の議論も振り返りながら、参加都市は、新興国におけるスマートシティの確立は、持続可能で住みやすい社会の創造及び市民生活の繁栄と向上に大いに役立つだろうという共通の理解に達した。

以上により、昨年採択された「アジアスマートシティ会議宣言」の精神を支持することにすべての参加者が合意した。

結論として、参加者はアジアスマートシティ会議を、スマートシティを実現するための都市間の協力と協業のプラットフォームとするため、定期的に横浜で開催することに合意した。